

# 「ウォークラリー研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

## 1 活動内容

グループで協力しながら、地図と写真を頼りに所内を回って用意された問題を解き、得点を競う。

## 2 活動のねらい

問題を解きながら交流の家について知る。  
グループで活動し、協調性を養う。

## 3 研修対象者

小学生以上

## 4 研修人数

最大120人

## 5 実施時期、研修時間、研修場所等

- (1) 実施時期…通年
- (2) 研修時間…午前 9時30分～12時00分  
午後13時30分～16時00分  
活動時間…1時間～1時間30分
- (3) 研修場所…管理研修棟・宿泊棟・体育館など  
スタート・ゴール場所…体育館・研修室・ピロティなどどこでも可能
- (4) 1グループの最適人数…3～6人

## 6 準備物

- (1) 個人：運動に適した服装，筆記用具
- (2) 団体：なし
- (3) 交流の家：トランシーバー（4台），マップ（グループ数），問題用紙（グループ数），クイズの解答用紙（グループ数），「ホーシーをさがせ」の解答用紙（グループ数），クイズの解答（1枚），「ホーシーをさがせ」の解答（1枚），バインダー（グループ数），ゼッケン（グループ数），

## 7 指導・安全管理

- (1) 指導者の配置・人数・役割分担  
研修は、「ウォークラリー研修」プログラムをもとに、団体がウォークラリーの指導・安全管理等を行う。
- (2) 引率者の配置・人数・役割分担  
活動団体で次の役割を持たせる。
  - ①総括責任者（全体の総括，緊急時の連絡担当）・・・1名
  - ②指導担当者（指導，用具の準備，安全管理）・・・1名
  - ③監視担当者※2（要所での安全管理）  
管理研修棟（1名）・宿泊棟奥（1名）・ピロティ（1名）
  - ④救護担当者（健康観察・応急処置）・・・1名

※1 家族等，小集団で引率者が各グループに入り回る場合は，引率者が①②④の役割を兼ね，③をおかなくてもよい。

※2 監視担当者は，総括責任者・指導担当者・救護担当者が兼ねてもよい。

(3) 事故発生時の措置

①総括責任者：事故の状況を把握し，交流の家に連絡を行う。

②指導担当者：事故者を除いた研修生をスタート場所に集合させ，人数，名前を確認する。

③監視担当者：救助に向かい，事故者を安全な場所に避難させる。

④救護担当者：救助に向かうとともに，応急処置を行う。

※ 引率者同士は，トランシーバーを使って連絡を取り合う。つながりにくい場合は，個人の携帯電話を使用する。

## 8 展開

(1) 「ウォークラリー研修実施届」(以下実施届)の提出

実施届に必要な事項を記入し，総括責任者が研修実施前までに交流の家へ提出する。

(2) 事前打合せ

職員と団体の引率者(指導担当者)が，実施届の確認をし，「交流の家ウォークラリー研修」プログラムを基に，研修に必要な物品や実施方法等の打ち合わせをする。

(3) 実施前

(指導担当者)

交流の家から必要な物品を受け取る。

(4) 事前指導

(指導担当者)

①ねらいを確認する。

②各班に問題用紙，解答用紙(バインダーにはさむ)，マップ，ゼッケンを配る。

③ルールを説明する。

ア ウォークラリーマップに従い，みんなで協力してクイズを解いていく。(どこから回るかは自分たちで決めてよい)

イ 答えを解答欄に記入する。(他のグループに答えを聞いたり教えたりしたら減点)

ウ クイズとは別に『ホーシーをさがせ!』にも取り組み，ホーシーが貼ってあった箇所を解答用紙「ホーシー記入欄」(地図)に記入する。(1つ正解ごとに1点ずつクイズの得点に加点できる。)

エ すべて終わるか時間がくるかしたら，決められたゴール場所へ行きグループで感想を伝え合い，必要事項を記述する。

オ 合計得点で順位を競う。

④団体が決めた制限時間(1時間～1時間30分)を伝える。

⑤問題用紙にある約束と注意事項を読みながら，その内容を確認する。ラリーをするときの注意をする。

(5) 研修の実際

(指導担当者)

・グループでどこから回るか相談させる。

・回る順番が決まったグループからスタートさせる。

(監視担当者)

・監視する場所にトランシーバーを持って移動する。

## (6) 事後指導

(指導担当者)

- ・ 答え合わせをし、順位を発表する。
- ・ グループごとにふりかえりの話し合いをし、解答用紙の感想の欄に記入させる。
- ・ 全体でまとめをし、解散する。
- ・ 研修終了を事務室に報告するとともに、借用物品の返却をする。

## 9 留意点

- (1) けが防止の注意（室内は絶対に走らない等）を徹底する。
- (2) 他団体への配慮（研修室の周りでは静かにする）を意識させる。  
※他団体が活動しているためクイズのポイントに入れない場合もある。

## 10 その他

「クイズのみ」，「ホーシーをさがせ！のみ」の研修を希望できる。

<オリジナルルールを加えたウォークラリー例>

- ① 各ポイントに引率者が立ち、走っていると減点する。
- ② 協力している姿があれば加点する。
- ③ 引率者と簡単なゲームをして得点を与える。
- ④ 秘密の時間を設定し、早すぎても遅すぎても減点する。
- ⑤ 引率者が独自の問題やチェックポイントなどを設定し、クイズに付け加える。

平成 年 月 日

## ウォークラリー研修実施届

国立江田島青少年交流の家所長 様

研修団体名

総括責任者名

㊞

連絡先（携帯電話）

ウォークラリー研修を下記のとおり実施します。なお、指導及び安全管理等は当団体が行い、研修中の事故、けが等については、当団体の責任において対処します。

### 記

1. 期 日 平成 年 月 日 曜日 時 分～ 時 分

#### 2. 指導体制等

##### (1) 指導者の役割

指導担当者名 (1名)	
監視担当者名 (3名)	
救護担当者名 (1名)	

##### (2) 研修参加者数

ウォークラリーをする人数	ウォークラリーをしない人数	合計
人	人	人

##### (3) 貸出物品等 \*交流の家職員との打ち合わせ時に記入

トランシーバー 4, クイズの解答 1, 「ホーシーをさがせ」の解答 1 【グループ数 ( )】 マップ, 問題用紙, 解答用紙 (2種類), バインダー, ゼッケン
---

#### 3. その他

(1) 打ち合わせ資料「『ウォークラリー研修』プログラム」を遵守し、実施します。

(2) 参加者の健康状態を十分に調査し、適当と判断した者のみ研修をさせます。

(3) 持参した物品等は、責任をもって持ち帰ります。